

高丘・林・松が丘地区の移動に関する課題について

1 高丘・林・松が丘地区における市民の移動に関する現状・課題

観点	高丘地区	林地区	松が丘地区
人口	14,969 人	9,687 人	8,755 人
高齢化率	37.1%	27.4%	39.1%
地理的特徴	昭和 40～50 年頃から開発された住宅地で構成される丘陵地	播磨灘に面し、漁村や工場、新興住宅が入り混じる平坦地	昭和 39 年に整備された明石市と神戸市にまたがる丘陵地
公共交通の利便性	・鉄道駅から遠く路線バスに依存 ・交通不便地域あり ・コミュニティバスは運行していない	・中央部では路線バスや鉄道駅が存在 ・南側には交通不便地域あり ・コミュニティバスは運行していない	・路線バス網は比較的充実 ・鉄道駅は遠い ・コミュニティバスは運行していない
商業施設の状況	スーパーあり	スーパーやコンビニあり	明舞団地再生により、スーパーや商業施設が整備
移動に関する課題	・高台にあり、坂が多く、高齢者や障害者の徒歩移動には負担が大きい ・タウンミーティングにおいて、バスの増便やデマンド型交通、坂道へのベンチ設置を求める意見が出ている	・交通不便地域が存在している ・徒歩や自転車での長距離移動が困難として、交通利便性の向上を求める意見が出ている	・坂が多く、高齢者や障害者の徒歩移動には負担が大きい ・タウンミーティングにおいて、バスの増便や乗合タクシーの導入、買物への移動支援を求める意見が出ている

※人口及び高齢化率は、「小学校区年齢別(5歳階級)別人口 住民基本台帳人口 令和7年4月1日現在」の数値による

2 市内全域に共通する現状・課題

- ・市街化区域内では、鉄道駅勢圏およびバス停勢圏の面積が90%を超えており、利便性の高い公共交通網が一定程度形成されている。一方で、高低差があり最寄りのバス停にアクセスすることが困難な地域が局所的に存在している。
- ・2020年(令和元年)には、市内東部の朝霧地区においてグリーンスローモビリティの実証調査を実施したが、カート型車両の安全性能や費用面、運営面で課題があり、本格運行には至らなかった。